令和８年７月せとまちトーク

（市民と議会の意見交換会）

都市活力委員会

①テーマ

№３　中心拠点の活性化

～尾張瀬戸駅・新瀬戸駅を中心に「にぎわい」のある市民が憩い集える広場に～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

若者が楽しむ場所が無い　学生向けの店を作る

踏切を広げてほしい

踏切で街が分断されている

道幅を広くする　観光地へのアクセスの悪さ

公共交通が少なく不便

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
区画整理を早くしてほしい	新瀬戸の広場でイベント	

④まとめ

中心市街地へのアクセスを整備する

人が留まる場所（学生・子供・高齢者）

地域の人が関わるイベントスペース

カフェ・カラオケ・ラウンドワン・図書スペース

令和８年７月せとまちトーク

（市民と議会の意見交換会）

都市活力委員会

①テーマ

№３　中心拠点の活性化

～尾張瀬戸駅・新瀬戸駅を中心に「にぎわい」のある市民が憩い集える広場に～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

新瀬戸駅

・通勤通学利用者がかなり限定的 通り抜けるのみ 電車の乗り換え

・現在は名古屋のベッドタウンではないか？ベッドタウンの今後をどう考えるか？

・若者の魅力が欲しい、ライブハウスがあるとよい

尾張瀬戸駅

・陶器・商店街など昔ながらの街のある駅 地域再編が必要

・顧客としてのインバウンド

・参加しやすいステージ（音楽）など

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
・交通等の動線を含めた都市計画を ・人の行き来がしやすいように交通を整えてほしい ・行政と学生で課題解決を考える場	・観光協会、商工会などを中心とした中間支援組織の設立 ・商店街、深川神社での催しを増やす ・瀬戸線を活用したインバウンド誘客	・中心部をクリエイティブゾーンに 瀬戸陶磁器等のイノベーション（新商品新市場） ・マイナスの資源をプラスの資源に変える→商店街の再生 ・新しい顧客を呼び込む仕組みが必要

④まとめ

渋滞等の道路課題を解決させる道路計画

尾張瀬戸は観光、新瀬戸は居住者とターゲット決め

若者、高齢者など集まる場所にすること

令和８年７月せとまちトーク

（市民と議会の意見交換会）

都市活力委員会

①テーマ

№３　中心拠点の活性化

～尾張瀬戸駅・新瀬戸駅を中心に「にぎわい」のある市民が憩い集える広場に～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

・共通項・・中日２軍誘致　　・食べるところ　　・鉄道の名古屋へのアクセス

・駅近くの住宅用地

・尾張瀬戸駅・・パルティ前の交差点の流れ、パルティ瀬戸駅前にドラゴンズ関係の情報発信を

窯神山と南北を隔てる　瀬戸大府東海線の整備

・新瀬戸駅・・踏切の分断、陶生病院の活用で健康のまちづくり

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
・中日誘致・・中水野駅に誘致する ・自治会や町内会による居住環境を PR する ・愛環を城北線やあおなみ線とつなぐ	・踏切の分断・・ラウンド交差点にする、踏切や信号を AI により制御させ、連動する ・陶生病院で健康なまちづくり	・窯神山・・山を開発して平地にする、瀬戸大府東海線を通す ・ジブリパークのお土産

④まとめ

・道路整備を進める、この街の古さを生かす。

・人と車の流れをよくして、人が集まりやすい環境をつくる/BY 中２学生

令和８年７月せとまちトーク

（市民と議会の意見交換会）

都市活力委員会

①テーマ

№３　中心拠点の活性化

～尾張瀬戸駅・新瀬戸駅を中心に「にぎわい」のある市民が憩い集える広場に～

②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

（尾張瀬戸駅）：人が留まる場所がない　：若い人が集える場所がない　：各商店街それぞれに課題があり問題点は多岐にわたる　：瀬戸川の有効利用　：

（新瀬戸駅）：お客さんが集まりにくい構造になっている　：踏切などの交通事情が課題　：行政が乗降客等のデータ分析をしているか

：アートスペースにしてはどうか　：

③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
（尾張瀬戸駅） 賑わい創出のグランドデザインを示す。国道複線化を国へ要望。深川地下街の整備 （瀬戸市駅） 駅東側の整備に関してのサウンディング調査の結果を注視するが、そこに行政、地元の想いが無ければいけない。まるっとミュージアム構想を具現化。	（尾張瀬戸駅） 商店街の新陳代謝及び活性化（空き店舗対策）。 （瀬戸市駅） 開発にあわせて、何らかのしかけを作ってはどうか。駅を降りたら食事ができる場所を作る。	

④まとめ

（尾張瀬戸駅）

市のグランドデザインを地域、商店街と共有して進めていくべき。中途半端な活性化推進ではなく国を巻き込んでの整備（道路、河川）が必要

（瀬戸市駅）

サウンディング調査を踏まえた後、今後の構想を市、地域、議会で課題と方策を共有しながら整備を進めていく。